

*委託業務 仕様書

1. 件名：令和5年度 途上国森林ナレッジ活用実証調査

2. 業務実施期間： 委託契約締結日～令和6年3月11日（月）

3. 業務委託内容

委託先は以下の業務を実施してください。

1) 証調査準備・情報収集

- (1) 現地協力者との調整など、実証調査に係る準備を調整します。
- (2) 事業の運営委員会にて調査計画を発表し、有識者より助言等を得ます。
- (3) 渡航予定表を作成し、JIFPRO の担当と現地調査の合流予定を調整します。
- (4) 以下の情報を収集・整理し、調査計画の精査・報告書作成等に活用します。

① 「課題」(A) とその背景に係る情報

- 実証対象の森林資源のバリューチェーンに係る情報等（利用・保全の現状・傾向、ステークホルダー、コスト、ニーズ、海外の消費・利用、法制度、政策、批准条約、等）
- 新型コロナウイルス（以下、感染症と記す）が対象資源や関係者・地域住民に及ぼすマイナス・プラスの影響（流行前後と最近の変化）
- その他、課題の解決・改善に役立つと思われる情報等

② 日本にある「ナレッジ」(B)に係る情報

収集情報は、事業の Web ページ* 向けに整理してまとめ、提出します。

* 「森を守る日本のちえぶくろ(ChiePro)」：jifpro.or.jp/chiepro/

③ 「目標」(C) 達成に係る要素

目標達成までの活動のリスク分析等を行い、対処方針を検討します。

（目標 C は、課題 A にナレッジ B を活用して目指す、対象途上国が森林資源を持続的に活用して住民の生計向上に資する取組（課題が対処された状態）を指します）。

2) 実証調査

- (1) 運営委員会や JIFPRO の助言も踏まえて、計画を精査しながら実施を進めます。
- (2) 調査同行時は、JIFPRO 担当と適宜連携・協力をします。
- (3) 感染症流行の影響(対象資源、関係者、森林保全について流行の前後で生じた違い、最近の傾向等)についても情報収集し、報告書作成に記載します。

3) 業務の中間報告

- (1) 活動状況、途中成果、問題等を整理して進捗状況を報告し、JIFPRO より助言等を得ます。(様式・項目は JIFPRO から提供します)
- (2) 運営委員会にて途中成果等を発表し、有識者より助言を得ます。

4) 業務報告書の作成

- (1) ナレッジ活用の結果、課題がどのように改善・対処されたか、その他活動成果・調査結果、分析等をまとめて提出します。
※以下の点に留意します。
 - ① 引用文は引用元、図・表の出典元を明記します
 - ② 第三者の著作物等を使用する場合は、事前に相手に「公開予定の報告書に掲載する」旨説明し、利用許諾を取得します
- (2) 提出後、修正等の指示がある際は従います。

5) 運営委員会への報告

運営委員会にて業務成果等を発表します。

6) 公開セミナー発表

JIFPRO が主催するセミナーにて、一般参加者向けに実証調査について発表をします。

7) 行事の共通事項

- 日程調整メールへの回答は迅速にします。
- 資料は JIFPRO の助言に従って用意し、事前調整を要する場合は協力します。

4. 業務の進行管理

委託先は、本業務の具体的内容及び実施方法について、調査の進捗状況や現地事情の変化に応じて柔軟に対応します。調査の進捗状況は、JIFPRO の求めに応じて逐次詳細に報告を行います。調査の実施にあたっては JIFPRO と協議の上、方針・内容を決定し、その指示に従って業務を遂行します。重篤な問題等が発生した際は、速やかに JIFPRO へ連絡します。

5. 成果品等の提出物

以下の電子データを、Eメールで記載の期限までに送付します。

なお、JIFPRO は成果を無償で活用でき、原則として公開できるものとします。

- | | |
|--|------------------|
| 1) 委員会発表資料 (PPT) | 7月、10月、令和6年2月頃予定 |
| 2) 中間報告書 (Word) | 10月1週目 |
| 3) Web ページ用ナレッジ個票 (Word) | 10月3週目 |
| 4) 業務報告書 (Word) と作成物 * | 令和6年1月24日(水) |
| 5) 写真 (jpeg 300dpi <) : 資源、ナレッジ、現地活動、住民等 | 令和6年1月 |
| 6) セミナー (3月上旬頃) 発表資料 (PPT) | 令和6年2月中旬頃 |

* マニュアル、パンフレット、教材、動画、印刷物等 Eメールで送れない場合は JIFPRO の事務所迄郵送等で送ります。

〒112-0004

東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル5階

(公財) 国際緑化推進センター ナレッジ事業担当宛て